

令和5年度 技術家庭科 家庭分野 研究のまとめ

富永 暁菜

1. 研究会等で明らかになった教科等の資質能力の具体

(3) 中学校家庭科 3年「エシカルアクションへの第一歩－消費者行動が社会と環境に与える影響－」

資質能力	生徒の姿	手立て	キーワード
授業 構想力	○一人ひとり違う資料を読む込み、交流することで学び合いの姿が見られた。	・交流する場面では相手の発表をただ聞くのではなく、メモを取らせた。	学習のつながり
	●用意していた資料に難易度の差があり、読解するのに時間がかかる生徒がいた。	・文章量が多いものもあったので、読み取る範囲を減らすなど配慮が必要だった。	
授業 実践力	○グループ活動がしやすいように班机にしていたため資料を読み込むのに、分からないことを生徒間ですぐ共有できた。	・机間指導をしながら理解が難しい生徒にヒントを与えたり、グループ間で解決できるような声かけを行った。また生徒が読み取った情報を板書することで共有することで生徒に安心感を与えた。	全員が参加できる教師の関わり
授業 分析・ 評価力	●授業の導入と振り返りでは意見が変わった生徒が若干いた。	・オーガニックコットンを選ぶことが良いのは生徒は理解できたが、実際に購入することを考えると高価なので難しいという意見が多かった。教員の問い方を変更する必要があるように感じた。	

2. 研究についての考察

表1 家庭科本来の魅力に迫るための教師の資質能力

資質能力	家庭科が考える「教師の資質能力」の具体
授業構想力	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態を把握し学習内容から目標を設定する視点 ・近年の問題を取り上げ、<u>自分との繋がり</u>を考え、今・未来の私たちの生活に繋げる視点 ・実生活に繋がる物を教材とし、実際に見て触れて体験し生徒の体験的な学習を増やす視点
授業実践力	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の進度を把握し、<u>柔軟に制作に取り組む</u>視点 ・対話的な授業の中で生徒の発言をキャッチし、それを生かし学びを深める視点 ・生徒が先の見通しが確認できる板書計画や安全に授業を行えるようにするための環境づくりの視点

授業分析・ 評価力	<ul style="list-style-type: none"> ・実態調査を行い，分析・評価し，生徒に示す視点 ・3学年3つの内容をシラバスに組み入れることで繰り返し学習や繋がりを持たせる視点
--------------	---

成果	課題
<p>・生徒通しの学び合いの活動を多く取り入れたので，助け合い，学習への不安は大きく見られなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を理解しているが，自分事になるとそれが実践できなかつたりすることがあったので，より自分の生活とどうつながるか，今の自分にできることを模索しなければならない。 ・実生活に寄り添った評価につなげられるよう改善していく必要がある。